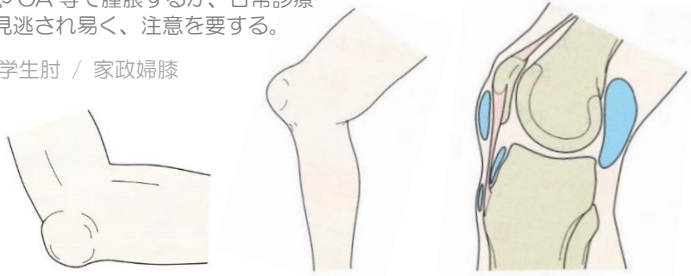


## 7. 関節包/滑液包障害

●膝周囲には臨床上重要な滑液包が存在。外傷やOA等で腫脹するが、日常診療では見逃され易く、注意を要する。

※学生肘 / 家政婦膝



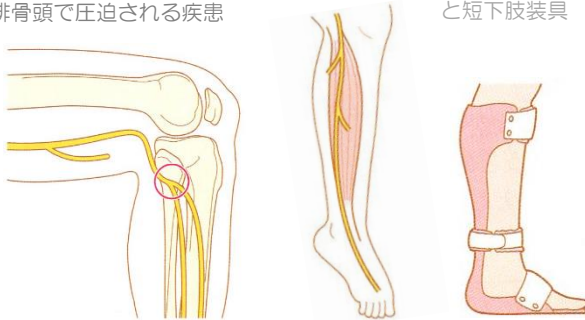
滑液包 皮下包	●疼痛腫脹はあるが、 筋関節の異常が見られない 場合以下の滑液包炎を疑う
a.膝蓋前皮下包	b.housemaid's knee
b.脛骨粗面皮下包	c.膝窩嚢胞 (ベーカー嚢腫)
c.腓腹筋半腱様筋包	d.側副靭帯滑液包
d.側副靭帯滑液包	e.鵞足包
e.鵞足包	e.鵞足下滑液包炎

## 8. 末梢神経障害

### 1-総腓骨神経麻痺

●坐骨神経の枝である総腓骨神経が腓骨頭で圧迫される疾患

※下垂足（鶏歩）と短下肢装具

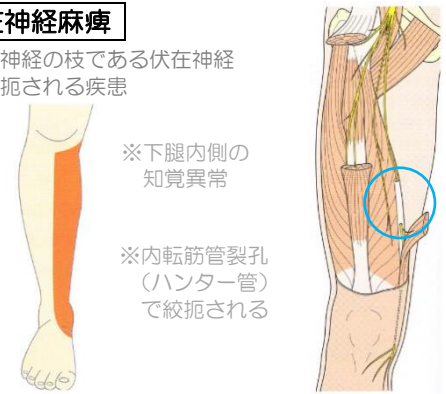


### 2-伏在神経麻痺

●大腿神経の枝である伏在神経が絞扼される疾患

※下腿内側の知覚異常

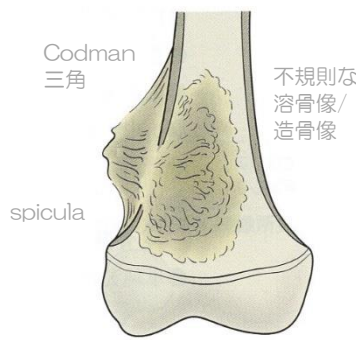
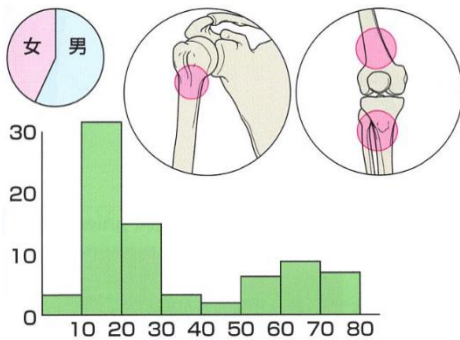
※内転筋管裂孔（ハンター管）で絞扼される



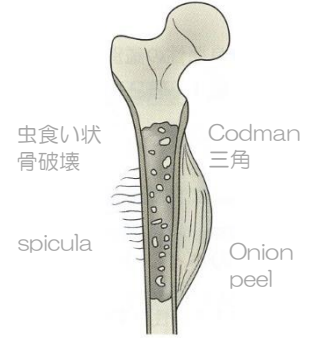
## 9. 青少年疾患

### a. 骨肉腫（⇒悪性骨腫瘍）

●原発性骨腫瘍では最多。肺への転移が多い。

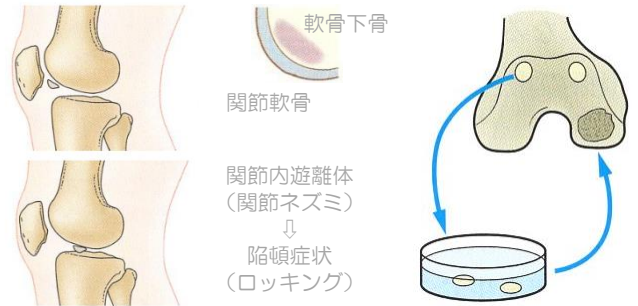
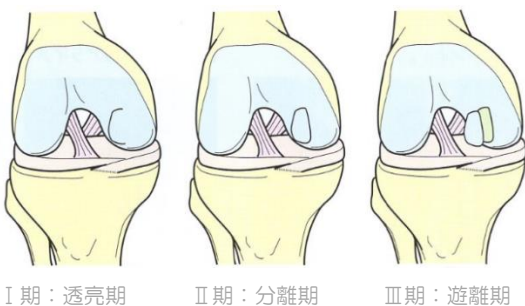


※Ewing肉腫



### b. 離断性骨軟骨炎（⇒膝OCD）

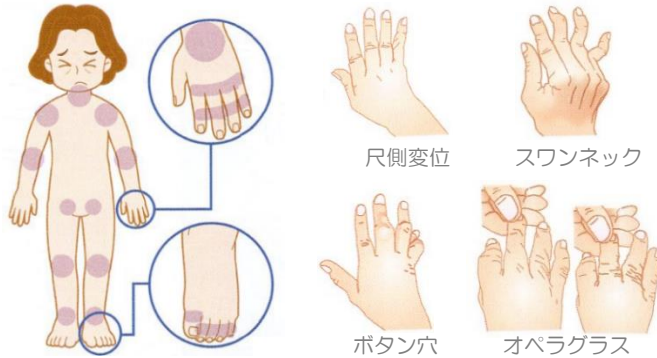
●骨の成長期（若年者）の軟骨下骨が壊死し骨軟骨が離断する疾患。



# 10. 中高年にみられる疾患

## a. 関節リウマチ (⇒RA)

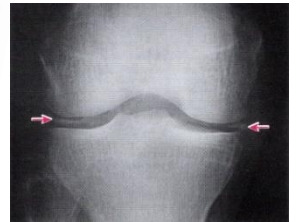
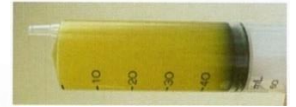
- 自己免疫疾患による慢性経過をたどる関節炎。
- 手指や足趾などの『小関節の腫脹』『朝のこわばり』が特徴。病期が進むと【大関節の炎症】や関節外症状が出現する。



## b. 偽痛風

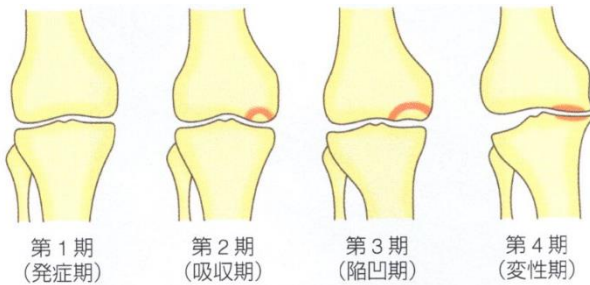
- 高齢女性に好発する結晶性関節炎。
- 急な疼痛/腫脹を訴える場合本症を念頭に置く。ピロリン酸カルシウム蓄積が原因。

※関節液の混濁



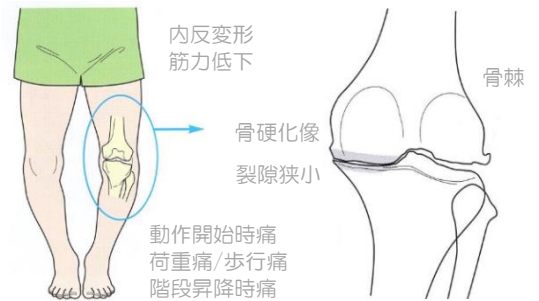
## c. 大腿骨顆部骨壊死

- 多くは何の誘因もなく特発性に発生する阻血性骨壊死。60歳以上の高齢女性に多く急な疼痛/夜間痛と共に発症。



## d. 変形性膝関節症 (膝OA)

- 多くが一次性(特発性)に発症。肥満との関係が深い。外傷や明らかな疾患が基盤の二次性(症候性)は少ない。



膝OCD	特徴	●関節軟骨が→ ●壊死部は離断され→	とともに壊死を起こす疾患。 となる。 ●大腿骨では→	に多い。
	症状	●大腿骨内顆周辺の運動痛 ●遊離体が生じた場合→ ①	●小児では→	② ③
	治療	●骨端線閉鎖以前かつ非離断例は保存療法	●欠損部が多い場合は骨軟骨移植術	

a. 関節リウマチ (膝関節)	●RA由来の慢性炎症進行により二次性の変形性膝関節症となったもの。			
b. 偽痛風	●ピロリン酸カルシウムによる結晶性関節炎 ●60歳以上の女性に多い。			
c. 大腿骨顆部骨壊死	●大腿骨顆部骨の原因不明の骨壊死 ●60歳以上の女性に多い。			
d. 変形性膝関節症	分類	一次性(特発性)多い	二次性(症候性)少ない	
	特徴	●50歳以上の女性に多い ●→	変形 ●裂隙狭小や骨棘形成が見られる	
	症状	●疼痛	: →	痛、 痛、 歩行痛、 階段昇降時痛
		●筋力低下	: →	筋に著明(歩行時の側方動揺)
●可動域制限		: →	制限(→ が不能となる)	
治療	●保存療法 : 筋力強化、足底板	●観血療法: 人工骨頭置換術、骨切り術		

ご清聴ありがとうございました。